75歳医療費2倍化の中止を求める宣伝（スポット原稿）

作成：中央社保協

皆さんご存じですか。昨年（2021年）6月に、国会で75歳以上の医療費窓口負担2割化の法律が可決されました。この法律が実施されれば（2022年）10月から、75歳以上で年収200万円以上の人（対象者約370万人）の医療費窓口負担が1割負担から2割負担にひきあがります。

私たちは、これは高齢者のいのちを脅かすものであり、10月実施の中止を求めて国会請願署名に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

　この法律には大きく３つの問題点があります。１つ目は2割負担による現役世代の負担軽減の効果は1人あたり、わずか月30円であることです。2つ目は、高齢者の負担増で受診控えが起きることが調査で明らかになっているのに、政府は「健康悪化に結び付かない」と主張していることです。3つ目は2割負担増の対象者は国会審議を経ずに政令だけで広げることができることです。

　コロナ禍と年金削減と物価高で、高齢者の生活がますます厳しくなっています。必要な負担は、暮らしが厳しい高齢者に求めるのではなく、富裕層や大企業に求めるべきです。先進国では医療費窓口負担は無料が当たり前です。医療費窓口負担の2割化は、高齢者の暮らしといのちを脅かすものであり、中止を求める声を広げていきましょう。国会請願署名へのご協力をお願いします。